

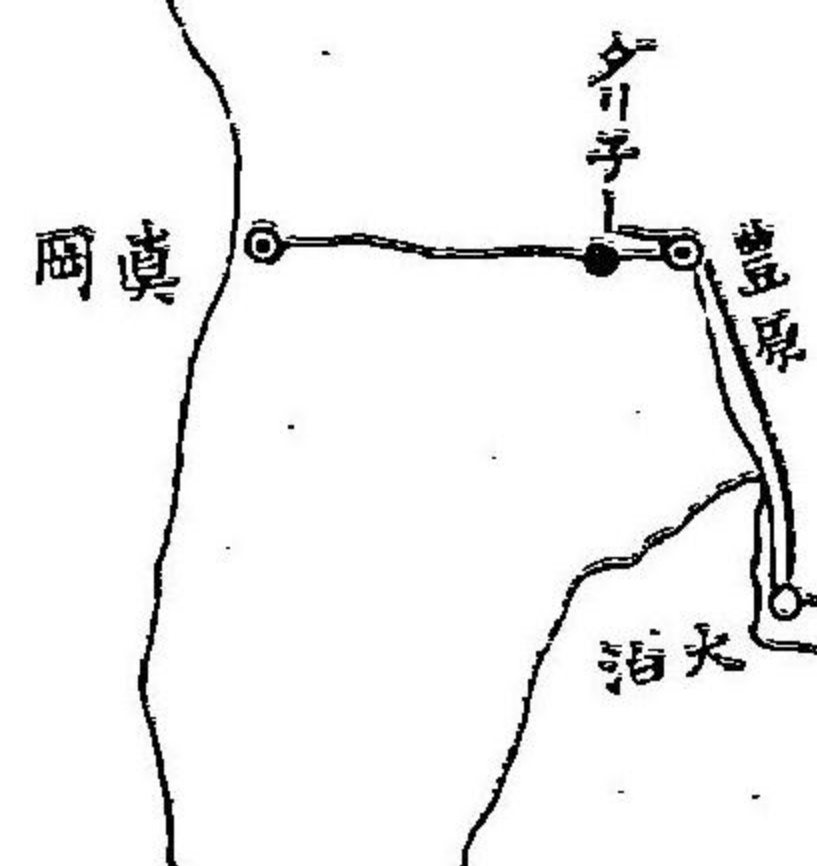
特 72

108

樺太廳
省内雅樂師
百樂學校教授
石森和男先生作歌
上真行先生作曲

樺太軍
の勇士
西久保少佐

少佐進軍路



樺太豊原齋進堂發行



301650-001-3

特72-108

樺太軍の勇士西久保少佐

石森 和男 / 著

M41.10

ACK-0001



特刊
108

樺太軍の勇士 西久保少佐

上眞行作曲

壯烈 =



3. 3 3 | 5. 5 3. 3 | 1. 1 2. 2 | 3. 0
ト シ ハ メ イ デ ノ サ ン ジ ュ - ハ チ
あ は れ の が れ し て き へ い は



5. 5 5 | 6. 6 6. 6 | 1. 1 6. 6 | 5. 0
ツ キ ハ フ ミ ツ キ ジ - ニ ニ チ
み つ り ん ふ か き - ダ リ チ - の



5. 5 2. 2 | 5. 5 3. 3 | 5. 5 2. 2 | 5. 0
ミ ソ ラ ニ ノ コ ル - シ - ジ - ノ
し げ る - こ だ ち を た て に し て



1. 1 6. 6 | 5. 5 3. 3 | 2. 2 2. 2 | 1. 0
ヒ カ リ - ウ ス ラ ク ア サ ポ ラ ケ
ひ ぶ た - ひ ら け り き く ん ぼ う

の樺太軍勇士西久保少佐

石森和男 寄贈

上眞行作曲
石森和男作歌



年
は
明
治
の
三
十
八
(一)

月
は
七
月
十
二
日

み空にのこる明星の

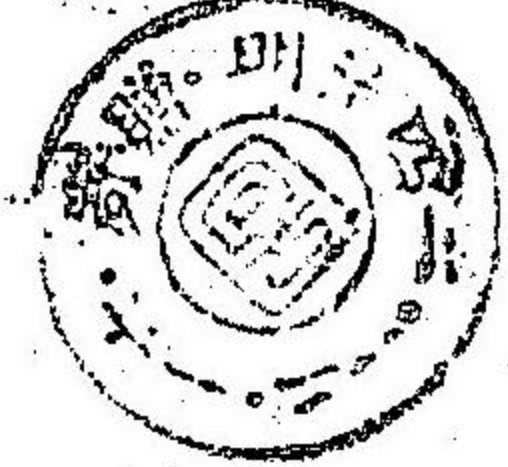
光りすらく朝ぼらけ

追はれ遁れし敵兵は

密林深きダリ子エの

繁る木立を楯にして

火蓋ひらけり機關砲



(三) 少佐 劔をふりかざし

よしや密林深くとも

鍛へし腕をためさんと

勇むさまこそを、しけれ

(四)

敵は根松蝦夷松の

緑のかけに籠れとも

こなたは遠くひらけたる

道一筋の荒野原

(五)

少佐 躍りて進み出て

部下の兵士を指揮しつゝ

突貫したるいきほひに

散りてみたる、木の葉武者

(六)

をりしもあれや音たてゝ

プツと飛びくる弾丸に

あはれ少佐は『残念』と

高く叫ひてたふれたり

(七)

沙河鴨緑江のたゝかひに

しばしば勳功たてし身を

君にさゝげて樺太の

露と消えぬるかなしとよ

(八)

草むす屍くちぬとも

たけきみたまはとこしへに

天かけりつゝ、樺櫻

匂ふ島根やまもるらん

257
809

著作權所有

明治四十一年十月廿五日印刷
明治四十一年十月廿八日發行

定價金 半錢

著者 石 森 和 男

權太應甲第二號官舎

發行者 藤 村 鐸 藏

權太豊原大通南四丁目一番地

印刷者 佐 久 間 衡 治

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

發行所 齋 進 堂

權太豊原大通南四丁目一番地

新聞、雜誌、圖書、出版、印刷物、名刺、繪葉書、學校用品、販賣及取次、
新聞雜誌廣告扱

(東京株式會社秀英印刷)

此の唱歌は權太軍の勇士「四久保少佐」の勳功
を永く小學兒童及一般人士の記憶に留めむ
との微意にて、昨年八月余權太廳に轉任の當
時、稿を起ししものなるが、幸に、前權太廳長官
陸軍中將楠瀬幸彦閣下に依り、上眞行氏の巧
妙なる作曲を得て、茲に、公にするに至るは、實
に閣下の賜ものなりとす。されば、特に一書を
添へ、謹みて閣下の厚意を謝す。
明治四拾壹年八月 石 森 和 男 識

